

全編敦賀口ケ 青春映画見て

敦賀市出身で今春に日本映画大を卒業した山下大裕さん(23)＝東京在住＝の自主映画「弥生の虹」の完成披露上映会が27日、同市きらめきみなと館で開かれる。閉校を控えた高校最後の卒業シーズンを描く青春ドラマで、市内の校舎で撮影するなど全編敦賀口ケを行った。山下さんは「自然や街並み、人々など敦賀の良さを盛り込むことができた。地元の人たちに楽しんでほしい」と来場を呼び掛けている。(松本寛)

山下さん(東京)故郷で自主製作



全編敦賀口ケの映画「弥生の虹」の上映会をPRする山下さん＝31日、福井新聞敦賀支社

「弥生の虹」27日上映 地元の魅力随所に

山下さんは映画監督を目指し、敦賀高から同大に進学した。20歳の時に敦賀などで撮影した「SNOWGIRL」を製作。大学卒業後は東京で、映画製作の仕事に携わっている。

エキストラの市民も多数参加した。映画の舞台は、卒業式を控えた「西浦高校」。閉校記念のビデオレターづくりを通し、生徒たちの揺れ動く心情を描いている。

主演の一人には、女優や声優として活躍する敦賀気比高3年の濱頭優さん(17)を起用。ビデオレター撮影のシーンには、西浦小のOBも出演し、ドキュメンタリーのような臨場感ある映像に仕上がったという。

山下さんは「卒業シーズン独特のすがすがしさや切なさを表現した。見る人が高校時代を思い出して共感してくれたら」と話している。作品は74分で、午後2時半、同5時、同7時半からの3回上映する。各回、山下さんが舞台あいさつする。午後1時から「SNOWGIRL」を上映する。

料金は一般前売り千円(当日1500円)、小中高生500円(当日同額)。4、6日は東京で上映会がある。問い合わせは山下さん＝☎090(7740)9475。

山下さんは「卒業シーズン独特のすがすがしさなどでカメラを回した。」

山下さんは「卒業シーズン独特のすがすがしさなどでカメラを回した。」